

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 4日は、低気圧が日本の東を東進する。高気圧が日本海に進む。
- 5日は、高気圧が日本海を東進する。
- 6日から7日は、高気圧が北日本付近を通過して、日本の東へ移動する。
- 7日から8日は、低気圧が日本の南から日本の東へ進む。

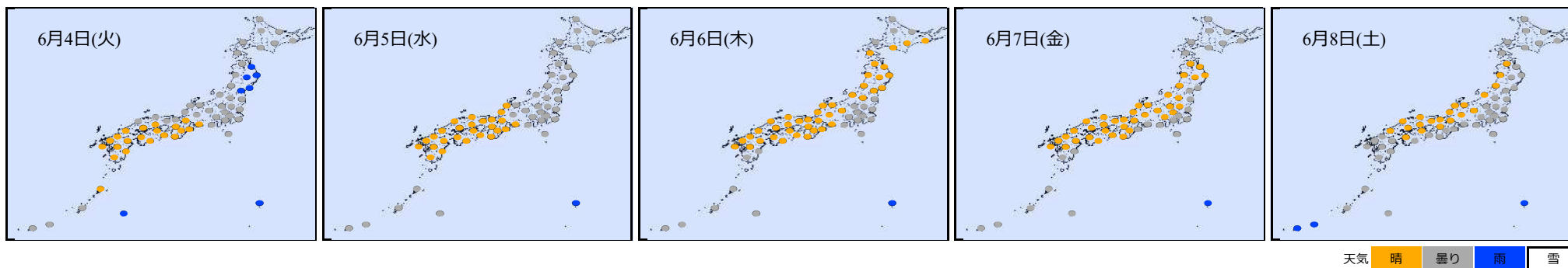
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

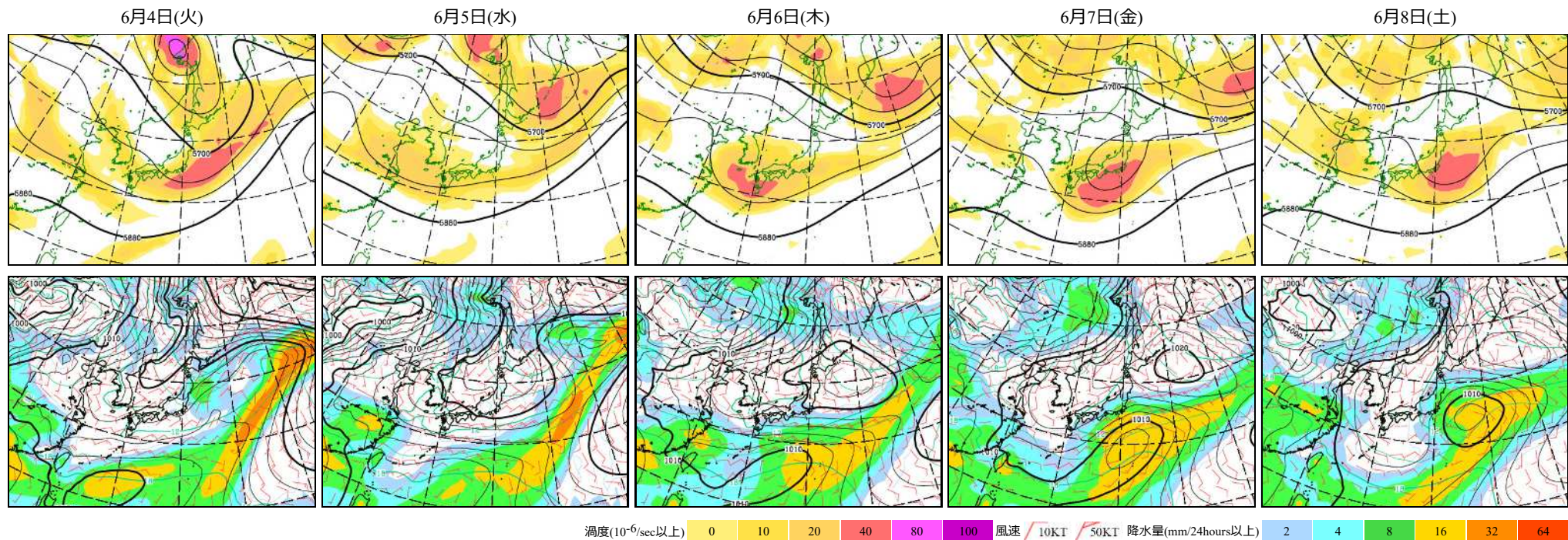
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

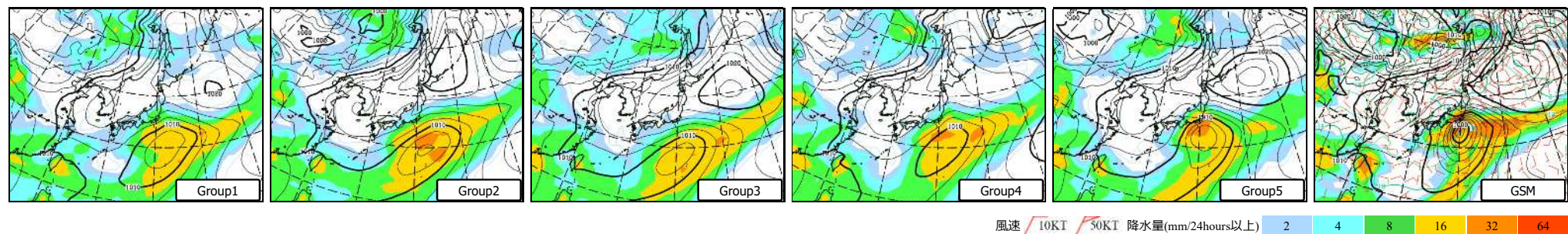


- 北日本では、4日に雨の降る所がある他は曇りや晴れる日が多い。
- 東日本では、曇る日が多いが、日本海側を中心に晴れる日もある。
- 西日本では、晴れや曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美では、曇りの日が多く雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆6月7日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- スプレッドは7日からは大きくなり、5700mの特定高度線に大きなばらつきが見られる。
- 7日に伊豆諸島の南を北東進する低気圧は、ENSのクラスター間でばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。